

新しい学年に向け ラストスパート

早いもので、今年度も残すところあと1か月となりました。いよいよ、ラストスパートの時期を迎えました。学校では新しい学年に向け、1年間のまとめをしっかりとしていきたいと考えています。ご家庭でも、お子さんと一緒に1年間の振り返りをお願いできたらと思います。学習の基礎・基本である、「読み・書き・計算」の定着には、日々の積み重ね・練習が欠かせません。子どもたちに、家庭学習の習慣がしっかり身につけばと思っています。そして、残り少ない3学期ですが、さらに勉強に運動にがんばってほしいと思います。

子ども支援ネットワーク研修会を行いました

2月14日(金) 19:30より、保護者・地域の方々・教職員等が参加し、上野小学校区子ども支援ネットワーク研修会を行いました。今回は、講師に佐野滉亮様をお迎えして「LGBTと子どもたち～保護者・地域の方の理解を求めて～」という演題でお話をいただきました。

2学期末児童・保護者アンケート結果を紹介します

12月には、1学期に引き続き、全校児童を対象に「学校生活に関するアンケート」を、さらに保護者の皆様方を対象に「本校教育活動に関するアンケート」を実施しました。ご協力ありがとうございました。

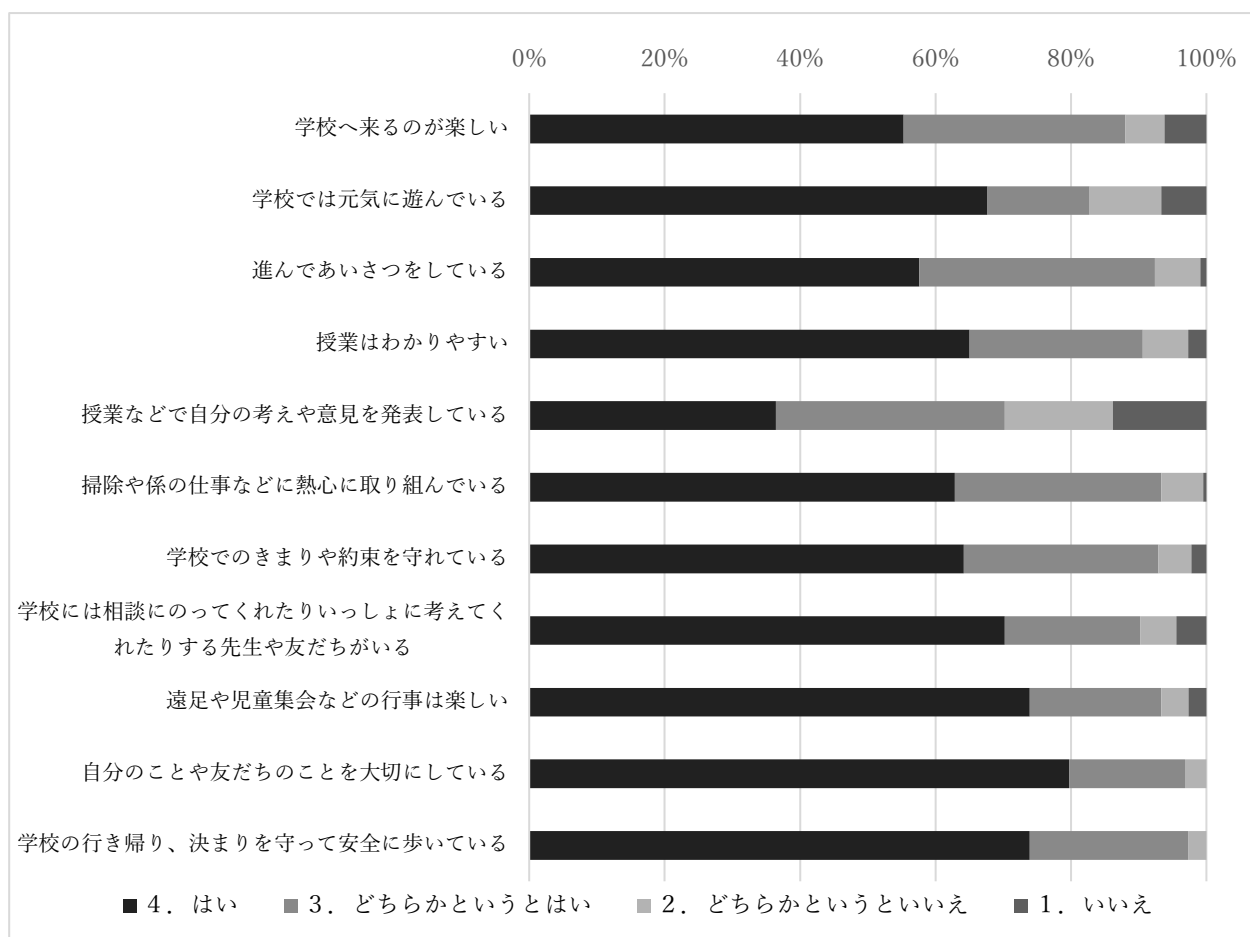
その結果を以下に紹介します(結果のグラフについては、裏面に掲載しました)。

まず、児童アンケートについては、1学期と同様の調査項目で行いました。その結果、回答の傾向に大きな変化は見られませんでした。11項目中10項目については、80%以上の子どもたちが「そう思う」「どちらかというと思う」といった肯定的な評価をしています。特に、「自分のことや友だちのことを大切にしている」「学校の行き帰り、決まりを守って安全に歩いている」では、非常に高い肯定的評価をしていました。その一方で、「授業などで、自分の意見や考えを発表している」では、1学期の調査の時と同様に20%を超える子どもたちが「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」といった否定的な評価をしていました。「自分の意見や考え」をみんなの前で言える力は、今後とても重要になってくると考えられます。原因を分析して、継続的に指導していく必要があると感じました。

次に、保護者アンケートについては、11項目で調査を行いました。その結果、すべての項目で80%以上の方が「そう思う」「どちらかというと思う」といった肯定的な評価でした。特に、「子どもは、元気に学校生活を送っている」「学校が行う様々な行事は、子どもたちにとって楽しいものになっている」「学校はわかる授業づくりに努めている」については、非常に高い肯定的評価をしていただきました。その一方で、「子どもは、進んであいさつをしている」「子どものことについて学校は相談しやすい」については、20%弱の方が「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」といった否定的な評価でした。あいさつについては、今後学校でも継続的に指導していきたいと思います。また、学校の敷居が高くない、気軽に相談できる「開かれた学校」づくりに、より務めていきたいと思います。

今回のアンケート結果をもとに、今後の指導へ役立て、さらに密接な保護者の皆さま方との関係づくりのために、日ごろからのきめ細かな情報提供やコミュニケーションを心がけたいと思います。ご協力ありがとうございました。

児童アンケート結果（2 学期末）



保護者アンケート結果（2 学期末）

